



大增税に苦しんでいる要介護者に 障害者控除証明書発行で減税実現

私は、昨年の九月市議会・本会議で「大增税で苦しんでいる要介護者に、障害者控除証明書を発行し負担軽減を」求めました。
その後、徳島市当局は他都市の実施状況等を調査し、この十一月から「介護認定者に障害者控除証明書が発行」されることになりました。大增税が市民の暮らしを直撃する中、大きな負担軽減になる成果です。

「広報とくしま」 十一月一日号に

「福祉課へ申請を」掲載

「広報とくしま」十一月一日号に、「障害者控除対象者認定書の交付」の見出しで紹介されているのが「介護認定者への障害者控除証明書」発行です。

これは、障害者手帳の交付を受けていない要介護者が、手帳の交付を受けている障害者と同レベルの状態

障害者控除対象者認定書の交付

障害者手帳の交付を受けていない65歳以上の人が、「障害者または特別障害者に準ずる者」として認定を受けることにより、所得税（平成19年分）、市・県民税（平成20年度）で所得控除の適用が可能に。対象は、介護保険の要介護状態が「要介護1」以上の人。ただし、対象者全員が認定されるものではなく、認定には審査有り。

申請者（本人または親族）の印鑑を持参して、福祉課（市役所南館1階 ☎621-5177）へ。

11月12日（月）～18日（日）

「女性の権利ホットライン」強化期間

「広報とくしま」11月1日号

であると市町村が認定し、障害者控除証明書を発行するものですが、松山市や高知市のような証明書が、徳島市でもようやく発行されることになったわけです。

要介護一、二は普通障害

要介護四、五は特別障害



徳島市で十一月から発行されるようになった介護認定者への証明書ですが、「要介護一、二は普通障害者控除証明書」「要介護三は普通障害者控除証明書」「要介護四、五は特別障害者控除証明書」が発行されます。

徳島市の場合、従来は「要介護五の人に証明書を発行」していたのですが、それに比べ、大幅な制度改善です。

「広報とくしま」には「ただし、対象者全員が認定されるものでは

なく、認定には審査あり」と書いていますので、当局に確かめたところ、「非該当になる

人は六人（全体の四％）ほど」とのこと。要介護者のほぼ全員に証明書が発行されます。

松山市では、徳島市のように「認定には審査あり」などと条件を付けずに控除証明書を発行しています。徳島市も松山市のように実施するよう、改善を求めていきます。

課税されている場合、

約四万円～五万五千円

税金が安くなる

証明書が発行されると、課税されている場合、普通障害者控除で住民税と所得税を合わせて約四万円、特別障害者控除で住民税と所得税を合わせて約五万五千円税金が安くなります。それは下表の金額が、配偶者控除や扶養控除などと同様に、課税所得から控除されるからです。

	所得税	住民税
普通障害者控除	27万円	26万円
特別障害者控除	40万円	30万円

【裏面に続く】



大幅改善され、

印鑑を持っていけば

その場で証明書発行

昨年の本会議

質問で問題にした一つが「申請手続きの煩雑さ」

：徳島市では、

従来、一番重度

の「要介護五だけに証明書」と

厳しく線引きし

た上に、「医師の診断書添付」を発行

要件としてきました。医師の診断書

をもらうためには、窓口で五千円も

支払わなければなりませんでした。

こんな厳しい条件のため、「新規申

請する人がゼロ」という状況でした。

それが大幅に改善され、福祉課の

窓口で印鑑を持って行けば、その場

で証明書が発行されるように、十一

月から変わりました。徳島市もやっ

と、松山市並の窓口対応になったわ

けです。



同じ高松国税局管内の

松山市や高知市の水準に

この証明書は税務署(市民税課)へ提出するもので、松山市や高知市と

同じ高松国税局管内である徳島市の証明書は「松山市や高知市と同じ水準」が常識なんですが：

松山市では、

要支援から要介護3までの市民に

普通障害者控除の証明書、要介護

4、要介護5の市民に特別障害者

控除の証明書を発行しています。

また高知市では、要介護1、要介

護2の市民に普通障害者控除の証

明書、要介護3から要介護5の市

民に特別障

害者控除の

証明書を発

行していま

す。

徳島市と

比べて松山

市は、「要支

援を普通障

害者控除」

にしている点がランクが高く、高

知市は「要介護3を特別障害者控

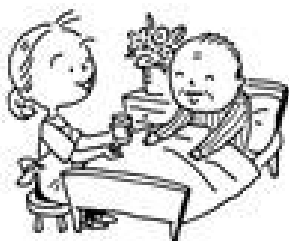
除」にしている点がランクが高い

わけです。

改善されたとはいえ、徳島市は

「ランクが低い」状態：今後、改善

を求めているかと思えます。



編集後記

ついこの間

まで「暑いな

あ、温暖化やなあ」と言っていたのに、

急激に秋が深まった感じですよ。

体調の維持管理が、なかなか大変

な時節ですが、お元気で過ごしてい

自民・公明が支える原氏が市長に就任して、いち早く行なったのが「財政危機宣言」：その財政再建築として市民に「痛みやガマン」を押しつけ、その一方で、「鉄道高架」のようなムダな大型公共事業を推進する：こんな「国の悪政の地方版・原徳島市政」に、市民の怒りがあちこちから湧き上がっています。

「痛みやガマン」ですが、市民の暮らしに直結する社会保障費を、ドン

ドン削減していま

す。その最たるも

のが国民健康保険

(国保) 料と介護保

険料：国保料は全国一高い(所得に

占める国保料の割合が県庁所在都市

で第一位) んですが、それは、原市

政になって、ずっと据え置いてきた

国保料を、二年連続値上げしたから

です。

また介護保険料も、全国でトップ

クラスに高いんですが、それは、原

市政になってから、介護保険への一

般会計からの繰入金一億九千万円を打ち切ったからです。

その一方で、強引に推進している

のが「鉄道高架」や「音芸ホールと

一体の新町西再開発」：七百五十億

円もかけて、二十年後の完成をめざ

すという「鉄道高架」は、牟岐線が

八十五%も占めるという、ムダな大

型公共事業の典型。

百八十六億円(市負担百十億円)

もの「音芸ホールと

一体の新町西再開

発」は、市民合意が

できていた「旧動物

園跡地での音芸ホー

ル」を、原市長の「一

声」で再開発ビルに変更して押しつ

けているもの：「眉山の景観を壊す

超高層マンション」と併せ、大きな

批判が高まっています。

数カ月後の来春は市長選挙です

が、「悪政を変えた

い」という声が、市

内のいたるところか

ら聞こえてきます。



しょうか。

次号では、視察してきた「小金井

市の再開発」を特集しますが、ここ

の再開発も、施工者は新町西と同様

で都市再生機構。「アツと驚くムダ

使い」：楽しみにして下さい。